

フォーラム

遺伝子組換え作物商業栽培開始 20 年を迎えて-これまでとこれから

主 催：NPO 北海道バイオ産業振興協会（HOBIA）
共 催：日本バイオテクノロジー情報センター
協 賛：バイテク情報普及会（CBIJ）
後 援：北海道経済産業局、 バイオインダストリー協会（JBA）
協 力：北海道
参加費：無料

2015 年は、表題のように遺伝子組換え作物商業栽培開始されて 20 年目となりました。これを機会に様々な分野からのお考えを伺い、これからの遺伝子組換え作物とこれら由来の食品や飼料そしてこれらを栽培することによる地球環境への影響について議論する場を持ちたいと考え下記の方々にその立場を代表してご講演をお願いしました。さらに参加者からの質問に答えるとともにパネルディスカッションを行い、これらに関する理解を深め、そしてこの課題に対するこれからの展望したいと願って企画しました。

日時：2016 年 7 月 9 日（土曜日）13：05 から 17：00

場所：北海道大学農学部講堂

講演：

- 13：10 開会の辞 NPO 北海道バイオ産業振興協会名誉理事長 富田房男
- 13：15 戸部依子氏（NACS 消費生活研究所 / 食生活特別委員会：おいしく、安全に食べるためのしくみと消費者の認識
- 13：55 小野寺靖氏（北見市農業生産者）：北海道における GM ビートの可能性
- 14：35 小島正美氏（毎日新聞社記者）：メディアから見た遺伝子組み換え作物問題
- 15：15 唐木英明氏（食の安全・安心財団 理事長）学術面から食の安全の科学者として
- 15：55 休憩

パネルディスカッション：16：10 - 17：00

パネリスト：上記 4 名と

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター・生物生産研究農場教授 山田敏彦氏
北海道農政部食の安全推進局長 小野悟氏

〔 司会：富田房男 NPO 北海道バイオ産業振興協会理事・
日本バイオテクノロジー情報センター 代表 〕

➤ 終了後交流会（参加費：4,000 円）を行います。

会場：札幌アспенホテル（札幌市北区北 8 条西 4 丁目 011-700-2111）

参加申込書

氏名	所属等	フォーラム	交流会

FAX：011-706-1331, E-mail：jimu@hobia.jp